京都府 報道発表資料

府政記者室、経済記者クラブ　同時資料配付

令和８年 11 月６日

水素社会で活躍できる人材を育成

～12 月１日に座学研修、12 月 11 日に視察研修を実施～

■京都府では、水素社会を迎えるにあたって第一線で活躍できる人材を輩出するために、企業の担当者を対象とした人材育成研修会を実施します。
■１２月１日は座学研修会、１２月１１日は視察研修会を開催しますので、周知と取材をお願いします。

１　座学研修会

（１）日時

令和８年 12 月１日（火）14:00～16:30

（２）会場

京都経済センター６-E 会議室(京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町 78 番地)

（３）内容

①水素社会実現に向けた国・関西の動向と近畿経済産業局の取組

（近畿経済産業局 資源エネルギー環境部 カーボンニュートラル推進室長　辻(つじ)氏）

②京都府の水素関連施策・取組

（京都府 総合政策環境部脱炭素社会推進課）

③福知山工場における水素を用いたエネルギー活用

（株式会社堀場エステック 生産本部 福知山生産部　吉田(よしだ)氏）

④カーボンニュートラルに向けた水素の取組

（ヤンマーエネルギーシステム株式会社　カーボンニュートラル推進部　営業企画部　藤定(ふじさだ)氏）

⑤板ガラス生産における水素利用の試み

（日本板硝子株式会社　研究開発部　日本統括部　ガラス技術領域長　宮部(みやべ)氏）

※オンラインでの参加も可能です。
オンライン参加者には、開催日前日までに参加用 URL をお送りします。

２　視察研修会

（１）日時

令和８年 12 月 11 日（金）14:00～16:30

（２）会場

株式会社神戸製鋼所 水素利活用実証施設「TAKASAGO GX Try Field」
(兵庫県高砂市荒井町新浜 2-3-1)
※会場へは京都駅発着の送迎バスをご利用いただきます。
(京都駅 12:00 発、18:30 頃着予定)

（３）内容

①株式会社神戸製鋼所による施設の説明
②視察
・ハイブリッド型水素ガス供給設備(水電解装置、液化水素関連設備)
・水素燃焼炉(改造炉)
・水素充填設備(FC 建機実証関連)
・CO2 回収設備(MOF)
③質疑応答

（次頁あり）

3　対象者
水素関連分野に関心を有する府内企業等の担当者

4　定員
①座学研修会(現地):先着 40 名
②視察研修会:先着 45 名

5　申込方法（参加無料）
参加を希望される方は、11 月 24 日（火）までに京都府ホームページ「令和８年度京都府水素人材育成研修会の参加者募集について」からお申し込みください。
（ＵＲＬ）https://www.pref.kyoto.jp/energy/news/r8_suisoseminar.html

6　取材について
送迎バスの手配や視察先との事前調整が必要となりますので、取材を御希望の方は、11 月 27 日（金）17 時までに別添の取材申込書を脱炭素社会推進課あてにメールまたは FAX にて御提出ください。

＜アクセスについて＞
①座学研修会：京都経済センター６-E 会議室(京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町 78 番地)
※公共交通機関でお越しいただくようお願いします。自家用車等でお越しの際、駐車場の台数に限りがあり、駐車できないことがありますので、御注意ください。



・京都市営地下鉄烏丸線「四条駅」北改札出てすぐ
・阪急電車京都線「烏丸駅」26 番出口直結

②視察研修会：株式会社神戸製鋼所 水素利活用実証施設「TAKASAGO GX Try Field」
(兵庫県高砂市荒井町新浜 2-3-1)
※京都駅発着の送迎バスを御用意いたしますので御利用ください。具体的な送迎バスの集合・解散場所は、参加者あてに別途御案内いたします。

【本報道発表に関するお問合せ】
総合政策環境部脱炭素社会推進課　課長　原（はら）　TEL 075-414-4701
係長　興津（おきつ）　TEL 075-414-4297



（別添）

取材申込書

御社名				
参加者 （全員の名前を記入） ※代表者の方に〇を付けてください。	氏　名（ふりがな）			
代表者連絡先	会社電話： 携帯電話： e-mail：			
参加希望 ※参加されるもの全てに「〇」を付けてください。	座学研修会 12月1日(火)		視察研修会 12月11日(金)	

※11月27日（金）17時までに御回答願います。

＜提出先＞

京都府総合政策環境部脱炭素社会推進課

e-mail：datsutanso@pref.kyoto.lg.jp

ＦＡＸ：075-414-4705